

平成 30 年度全国学力学習状況調査（中学 3 年生）の結果をお知らせします

平成 30 年 10 月 15 日

唐津市立馬渡中学校

平成 30 年 4 月 17 日（火）に、全国学力学習調査（国語 A B，数学 A B，理科、児童質問紙）が実施されました。その結果が届きましたので、これまでの学校の取り組みや課題等も含めてお知らせします。

【教科に関する調査結果】

- ・国語 A（知識）は全国－6.1 ポイント（県－5.0P）下回り、国語 B（活用）の本校の正答率は全国＋10.8 ポイント（県＋13.0P）上回りました。
- ・数学 A（知識）の本校の正答率は全国－17.1 ポイント（県－15.0P）。数学 B（活用）は全国を－26.9 ポイント（県－24.0P）下回る結果になっています。
- ・理科の「生物的領域」で全国＋19.2 ポイント（県＋21.5）上まわりました。

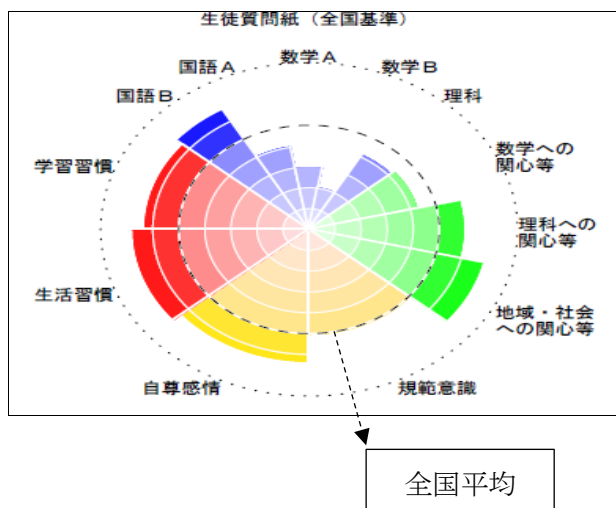


【各教科の領域別の傾向について】

- ・国語 A の「話すこと・聞くこと」「書くこと」でやや下回る結果となりましたが、「読むこと」で全国を上回りました。
- ・国語 B では、「話す・聞く」「書く」「読む」「国語の特質」すべての観点で全国や県の正答率を大きく上回りました。とくに「話す・聞く」では全国＋15.1 ポイント、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では全国＋50.8 ポイント上回る結果となっています。
- ・数学 A では、「数と式」「図形」「関数」「資料応用」すべての観点で全国や県の正答率を下回りました。
- ・数学 B では、「図形」で県平均に近づきましたが、その他の「数式」「関数」「資料の応用」で全国・県を下回る結果となりました。

【児童質問紙調査結果について】

- ・朝食，就寝，起床，など規則正しい生活習慣については全員よく定着できているという回答状況です。
- ・復習の仕方，家庭学習時間の確保が課題です。
- ・「授業での発表の機会の多さ」や、「授業での話し合い活動の頻度」で，全国や県を上回っています。少人数での授業，話し合い活動が定着してきていることが要因として挙げられると思います。



【「読む」力・「書く」力について】

今回の 4 月調査の国語 B では全ての領域で高い正答率でした。実際の実力試験では速さと正確さが求められます。何が聞かれているのか素早く判断し，正答を導き出すことが求められます。「読む」力は，あらゆる教科の基本となるものです。さらに伸ばしたいものです。そのためには新聞を毎日読む習慣をつけて感想を書いたり，「自学ノート」に何を，どんな配置で書いていくかプランを立て，実際に書いたりしていくことも大事だと思われます。文章を読み取る力は，学校や家庭での日頃の読書習慣に大きく影響していると思われます。

【これまでの取り組み】

- ・授業において話し合い活動や自分の考えを説明したり文章に書いたりする活動を増やしてきました。
- ・スピーチ朝会を定期的に行い，発表や感想の交流をすることを通して，表現力の向上を目指してきました。
- ・夏休みまでの中学漢字の前倒し学習，毎週末の英単語の確認テスト等に継続して取り組んできました。

【これからの取り組み】

- ・思考力，判断力，表現力を高めていくために，各教科・領域で話し合い活動を中心とした授業や書く活動に，引き続き取り組んでいきます。
- ・入試本番を想定した受験対策学習会を放課後に位置付けます。
- ・国語 B（活用）の高い数値を活かし，入試につながる古典分野に強い国語力の強化を図ります。